

【令和5年度 年度始め保護者会挨拶】



令和5年度
年度始め保護者会

1年生：97名（3学級）
2年生：118名（3学級）
3年生：96名（3学級）
特別支援学級（2学級）
合計：311名（11学級）

2023.4.26
柏市立風早中学校

風早中は何のためにある

◎教育の最上位目標
子どもたちが「将来、社会の中でよりよく生きていける」ようにする

↓

「豊かな社会を築いて幸せな人生を歩んでいく」

↓

《知》 《徳》 《体》

◎学校教育目標
「自ら学び、豊かな心で、社会と共に生きる生徒の育成」

《知》…知識と知恵や知性

知恵や知性の獲得を中心とした授業
(知識をもとに、考え、判断し、よりよく解決する力)

↑

<学ぶ方法と手段>
①一人一台端末 ②読書活動 ③風早タイム ④自主学習 ⑤キャリア教育

<授業のプロセス>
①自分で考える ②仲間と考える ③意見や考えを発表する ④より良い解を導く

基礎的・基本的な知識・技能の習得を中心とした授業

今年度の風早中の教育活動については、学校は何のためにあるのかを考えてみると、教育の最上位目標として、子どもたちが「将来、社会の中でよりよく生きていける」ようにすることだと考えています。

これは、「豊かな社会を築いて、一人一人が幸せな人生を歩んでいく」ことです。そのために必要な資質・能力としての、「知」「徳」「体」をしっかりと育てていきたいと思ひます。

そこで、風早中の学校教育目標を「自ら学び、豊かな心で、社会と共に生きる生徒の育成」として、教育活動を進めていきます。

「知」の育成については、昨年度の学校評価アンケートの結果等を踏まえて、基礎学力の向上や学習習慣の定着に重点を置いて指導していきたく思ひます。

そのために、朝学習の風早タイムでは基礎的・基本的な知識・技能の定着のための学習や読書、また、家

庭学習では自主学習の習慣化を推進していきたく思ひます。

一方、授業では、これまでの知識の獲得中心の授業から、子どもたちがお互いに学び合い主体的に学力を身につけていくような授業へと転換を図っているところです。具体的には、課題に対して自分一人で考える、仲間と一緒に考える、意見や考えを発表する、最終的にベターな答えを導き出すというプロセスで指導・支援して、知識を知恵や知性へと高めて（昇華して）いくような授業にしていきたいと思ひます。

《徳》…主体性と協調性

《人と関わる力:協調性》
☆協調性 ☆思いやり ☆社交性(コミュニケーション力)

《自分自身に関する力:主体性》
☆自己肯定感 ☆自立心 ☆自制心

<人と関わる経験>
①生徒会活動 ②学級活動 ③行事 ④ボランティア活動

<自己をコントロールする経験>
①ルールとマナーの意識 ②挨拶・時間・清掃 ③「計画・実行・反省」のプロセス

「徳」についてですが、これはいわゆる道徳心のことですが、特に「主体性」と「協調性」をキーワードに指導・支援していきたく思ひます。

社会生活においては、人と人の関わりは欠かせませんから、よりよい人間関係を築いていくための協調性や思いやり、コミュニケーション力(社

交性) といった「人と関わる力」と、個人として幸せに生きていくための自己肯定感や自立心、自制心などの「自分自身に関する力」に特に重点を置いて指導・

支援していきたいと思います。

そのためには、生徒会活動や学級活動、行事などの取組を通して、人と人との関わり方を学ぶ経験をより多く積めるようにしていきたいと思います。

また、中学生は、心と身体がめざましく成長し、活力にあふれ、どんなことにも積極的に取り組める時期です。しかし、自分のわがままや衝動のままに行動してしまう危うさもある時期でもあるので、規則正しい生活習慣を築き、自分をコントロールする強さを持って中学校生活を送ることができるよう支援・指導していきたいと思います。

《体》…逞しい心身

<厳しい社会の荒波を乗り越える力>
☆やり抜く力(我慢(忍耐)強さ・粘り強さ) ☆レジリエンス(折れない心)

	<主な取組>	
	①一人一人に寄り添った支援	
	②教育相談	
	③スクールカウンセラー	
	④スクールソーシャルワーカー	
	⑤個別支援教員	
⑥風早サポート教室		

「体」についてですが、特に「逞しい心」に重点を置いて指導・支援していきたいと思います。

優秀な成績で大学を卒業して就職しても、職場で叱責されたり、仕事で失敗して、引きこもりになってしまったりする残念な例は最近たくさん聞きます。思い通りにならないこと

があるたびにふて腐れたり、傷つき、落ち込み、心が折れたなどと言っていたりしたら厳しい社会の荒波を乗り越えていくことはできませんから、我慢強く（忍耐強く）、粘り強くやり抜く力（グリット）と、レジリエンスというストレスを上手く跳ね返す折れない心を身につけて欲しいと思います。

学校生活ではちょっと頑張れば届くところに目標を設定して取り組ませて能力を伸ばしていきますので、様々な場面で子どもに負荷がかかります。失敗や壁にぶつかり挫折したり、人間関係や自己コントロールが上手くいかず、落ち込んだり悩んだりすることも多々あるのも事実です。そんな時には、遠慮なく担任等に相談して欲しいと思います。あるいは、風早中にはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーがおりますから、生徒でも保護者の皆さんでも相談できますので気軽にお声がけください。また、風早サポート教室という教室を用意して、個別支援教員を配置しています。ちょっと教室には入りにくい時はこちらで学習することもできます。

あなたの「憧れの人」は誰ですか？

「お父さん・お母さん」がすべての年代で1位！
(将来のことや分からないこと、悩みを相談したときにも力になってくれる一番の味方で、自分もそんな大人になりたい。家事や仕事をする姿を見て一番身近な尊敬できる人。)

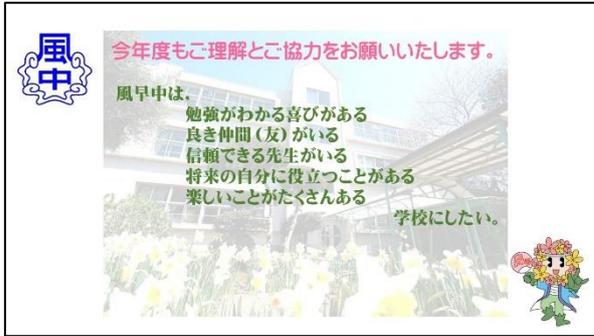
「学校の先生」は3位！

↓ 

子供にとっての良いロールモデルになりましょう！！

第一生命が行ったアンケート調査の結果が3月に発表され、その中で、「憧れの人」についての質問で、数々の有名人を抑えて第1位になったのが「お父さん・お母さん」でした。その理由は、将来のことや分からないこと、悩みを相談したときにも力になってくれる一番の味方で、自分

もそんな大人になりたい。家事や仕事をする姿を見て一番身近な尊敬できる人が挙げられていました。残念ながら、学校の先生は3位でしたが、保護者の皆さんも私たちも、子供に大きな影響を与える最も身近にいる大人として、より良い生き方を背中で見せるような大人でありたいと思います。



また、風早中が魅力ある学校になれるように、「勉強がわかる喜びがある」、「良き仲間(友)がいる」、「信頼できる先生がいる」、「将来の自分に役立つことがある」、「楽しいことがたくさんある」学校にしていきたいと思います。

そのためには、厳しく指導もしますが、一人一人の状況に寄り添って温かく支援することもいとわない学校でありたいと思っています。

ご理解とご協力をお願いいたします。